

2009年1月16日
日本銀行金融市場局

国債売現先（国債補完供給）の実施 条件の緩和措置の期限延長について

日本銀行は、国債レポ市場における流動性改善のため、国債売現先（国債補完供給）の実施条件の緩和措置を実施していますが、同措置の実施期限を1月16日から4月30日まで延長することとしましたのでお知らせします。

記

（1）実施要件

従来の取り扱い（昨年9月12日以前）	本年4月30日までの取り扱い
原則として、1銘柄につき3先以上からオファーの実施の希望を受けた場合	原則として、1銘柄につき1先以上からオファーの実施の希望を受けた場合

（2）オファー実施希望受付時間の延長

従来の取り扱い（昨年9月12日以前）	本年4月30日までの取り扱い
午前9時～午前11時30分	午前9時～午後1時

（参考）スタート日のタイム・スケジュール（注1）

	従来の取り扱い （昨年9月12日以前）	本年4月30日までの取り扱い
オファー実施 希望受付時間	午前9時～午前11時30分	午前9時～午後1時
オファー	午後1時	午後2時
応募締切	午後1時45分	午後2時30分
オファーバック	午後2時頃	午後2時45分頃
決済	午後2時頃～午後3時30分（注2）	午後2時45分頃～午後4時（注2）

（注1）エンド日（再売却にかかるエンド決済を含みます）のタイム・スケジュール（原則として、午前9時～午後3時30分（注2）までに、国債売買OKサインを入力）は、変更ありません。

（注2）日銀ネット国債系の延長日には、延長分だけ後ずれします。

(3) 1回のオファー当たりの対象先別の応札上限額

	従来の取り扱い (昨年9月12日以前)	本年4月30日までの取り扱い
応札総額 の上限	売却予定総額の50%	売却予定総額の100%
銘柄別の 応札上限	銘柄別の売却上限額の50%	銘柄別の売却上限額の100%

(4) 最低品賃料の引き下げ

従来の取り扱い (昨年10月14日以前)	本年4月30日までの取り扱い
1%	0.5%

以 上

<本件照会先>

金融市場局 金沢 (03-3277-1284)